

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2020年 10月6日作成 第 1.3版

研究課題名	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の疾患背景、臨床経過、疫学に関する研究 （多施設共同研究）
研究の対象	2020年1月～2021年12月31日までに当院において治療を受けた方のうち、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者または疑義症例に該当する方が対象になります。今後の患者の増加にともない研究対象者の方を可能なかぎり集積します。
研究目的 ・方法	2020年1月、中国で発生した新型コロナウイルス（2019-nCoV）が世界中に広がり、日本でも発症者が出ています。しかし、新型コロナウイルスの性状は未だ不明な点が多く、治療薬も確立していません。横浜市、神奈川県地域でも患者さんの報告がありますが、治療経過が十分把握、解析されていないのが現状です。この研究では発症した方の患者背景、治療経過、発症頻度等を解析します。
研究期間	西暦 2020年 2月 18日 ～ 西暦 2023年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報の 種類	治療中の情報を診療記録より収集します。患者背景（年齢、性別、入院日など）、合併症、血液学的検査（白血球数、血小板数、AST、ALT、T.bil、尿素窒素、クレアチニン、血糖、CRPなど、細菌検査結果）、治療薬、臨床的予後、胸部CT、レントゲン像、抗体・抗原検査結果、ワクチン接種の有無などを評価します。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
外部への 試料・情報の 提供	当院で収集した情報は匿名化した上で、共同研究機関である横浜市立大学市民総合医療センター、済生会横浜市南部病院、横浜国立大学環境情報研究院へ提供します。その際には匿名化を行い誰のものか分からない処理を行った上で CD-ROM 等の記録媒体に記録し、研究者が直接移送、もしくは追跡ができる方法で郵送します。提供したデータは、各機関の研究者の管理のもと厳重に管理し、研究終了翌日から1週間の間に復元できない方法で廃棄します。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	研究協力機関から、専用の症例報告フォームを用いパスワードをかけた状態で研究情報を収集します。この際に研究 ID が付与され、患者さん個人を識別できる情報は削除されたうえで保管されます

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

<p>研究組織</p>	<p>主たる研究機関： 横浜市立大学附属病院 感染制御部</p> <p>共同研究機関： 横浜市立大学附属市民総合医療センター 感染制御部、放射線診断科、医療の質・安全管理室 横浜市立みなと赤十字病院感染症内科 藤沢市民病院臨床検査科 東海大学医学部附属病院総合内科 神奈川県立足柄上病院総合診療科 秦野赤十字病院循環器内科 済生会横浜市東部病院 TQM センター 済生会横浜市南部病院血液内科 国立病院機構横浜医療センター救命救急センター 川崎市立川崎病院感染症内科 横須賀市民病院外科 横浜市立市民病院感染症内科 聖マリアンナ大学病院救命救急センター 北里大学病院感染管理室 厚木市立病院呼吸器内科 平塚市立病院救急科 横浜労災病院血液内科 昭和大学横浜市北部病院感染管理室 昭和大学藤が丘病院呼吸器内科 昭和大学藤が丘病院感染対策室 相模原共同病院 呼吸器内科 横浜国立大学環境情報研究院</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院感染制御部 （研究責任者）加藤 英明

電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-786-3444

研究代表施設：横浜市立大学附属病院